



ディザスタリカバリ用にストレージシステムを 設定する

ONTAP tools for VMware vSphere 9.13

NetApp
December 17, 2025

目次

ディザスタリカバリ用にストレージシステムを設定する	1
SAN 環境向けの Storage Replication Adapter の設定	1
NAS 環境向けの Storage Replication Adapter の設定	1
大規模な環境向けの Storage Replication Adapter の設定	2
ストレージプロバイダの設定	2
ストレージ設定	2
共有リカバリサイト設定でのSRAとSRMの設定	3

ディザスタリカバリ用にストレージシステムを設定する

SAN 環境向けの Storage Replication Adapter の設定

Site Recovery Manager (SRM) 向け Storage Replication Adapter (SRA) を実行するには、事前にストレージシステムのセットアップが必要です。

- 必要なもの *

保護対象サイトとリカバリサイトに次のプログラムがインストールされている必要があります。

- SRM の場合

SRM のインストールについては、VMware サイトのドキュメントを参照してください。

["VMware Site Recovery Manager のドキュメント"](#)

- SRA

アダプタは SRM にインストールされます。

- 手順 *

1. 保護対象サイトで、プライマリ ESXi ホストがプライマリストレージシステムの LUN に接続されていることを確認します。
2. プライマリ・ストレージ・システムで、「ostype」オプションが *vmware* に設定されている *igroup* に、LUN が含まれていることを確認します。
3. リカバリサイトの ESXi ホストが FC または iSCSI を使用して Storage Virtual Machine (SVM) に適切に接続されていることを確認します。セカンダリサイトの ESXi ホストはセカンダリサイトのストレージにアクセスできる必要があります。同様に、プライマリサイトの ESXi ホストはプライマリサイトのストレージにアクセスできる必要があります。

そのためには、ESXiホストのローカルLUNがSVM上で接続されていることを確認するか、を使用し
ます `fcv show initiators` コマンドまたは `iscsi show initiators SVM` でコマンドを実行します。ESXiホストでマッピングされたLUNへのLUNアクセスをチェックして、FC接続
とiSCSI接続を確認します。

NAS 環境向けの Storage Replication Adapter の設定

- 必要なもの *

保護対象サイトとリカバリサイトに次のプログラムがインストールされている必要があります。

- SRM の場合

SRM のインストールに関するドキュメントは、VMware のサイトで入手できます。

["VMware Site Recovery Manager のドキュメント"](#)

- SRA

SRM と SRA サーバにアダプタをインストールします。

- 手順 *

1. 保護対象サイトのデータストアに、vCenter Server に登録された仮想マシンがあることを確認します。
2. 保護対象サイトの ESXi ホストに、Storage Virtual Machine (SVM) の NFS エクスポートボリュームがマウントされていることを確認します。
3. Array Manager ウィザードを使用して SRM にアレイを追加するときに、NFS エクスポートが存在する IP アドレス、ホスト名、FQDN などの有効なアドレスが **NFS Address** フィールドに指定されていることを確認します。
4. リカバリサイトの各 ESXi ホストで「ping」コマンドを実行して、SVM から NFS エクスポートへの接続に使用される IP アドレスにホストの VMkernel ポートからアクセスできることを確認します。

["ネットアップサポート"](#)

大規模な環境向けの Storage Replication Adapter の設定

大規模な環境で最適なパフォーマンスを実現するには、Storage Replication Adapter (SRA) の推奨設定に従ってストレージのタイムアウト間隔を設定する必要があります。

ストレージプロバイダの設定

拡張環境の SRM について、次のタイムアウト値を設定する必要があります。

* 詳細設定 *	* タイムアウト値 *
「 storageProvider.resignatureTimeout 」を参照してください	設定の値を 900 秒から 12000 秒に増やします。
'storageProvider.hostRescanDelaySec'	60
'storageProvider.hostRescanRepeatCnt'	20
'storageProvider.hostRescanTimeoutSec'	高い値を設定します (例: 99999)

また、「 storageProvider.autoResignatureMode` 」オプションを有効にする必要があります。

ストレージプロバイダの設定の変更の詳細については、Broadcomのマニュアルを参照してください。

["Change Storage Provider Settings"](#)

ストレージ設定

タイムアウトに達した場合は、 storage.commandTimeout および storage.maxConcurrentCommandCnt 値を大きくします。



指定したタイムアウト間隔が最大値です。最大タイムアウトに達することはありません。ほとんどのコマンドは、設定された最大タイムアウト間隔内に終了します。

また、`vvol.properties` ファイル `offtap.operation.timeout.period.seconds=86400` で、SRA が 1 回の処理を実行する最大時間を設定する必要があります。

["ネットアップナレッジベースの回答 1001111 : 「NetApp Storage Replication Adapter 4.0/7.X for ONTAP Sizing Guide」](#)

詳細については、SANプロバイダの設定の変更に関するBroadcomのドキュメントを参照してください。

["Change Storage Settings"](#)

共有リカバリサイト設定での**SRA**と**SRM**の設定

ONTAP tools for VMware vSphereは、VMwareのSRM共有リカバリサイト構成をサポートしています。詳細については、[を参照してください "共有リカバリサイト構成のSite Recovery Manager"](#)。リカバリサイトのSite Recovery Manager Serverインスタンスは、同じvCenter Serverインスタンスに接続します。

SRM共有リカバリサイトの設定では、各SRMサーバに専用のSRAインスタンスが必要です（SRMとSRAは1：1の関係）。各SRMサーバの専用SRAインスタンスとして機能するように、OTVをVCFモードで設定します。また、vCenterに登録され、データストアのプロビジョニングなどのSRA以外のタスクに使用される、SRA以外のONTAP Tools for VMware vSphereアプライアンスを導入することもできます。

。 ["SRM共有リカバリサイトでSRAを設定する方法"](#) 手順for setting up SRA to support SRM Shared Recovery Site Configurationの詳細は、技術情報アーティクルで説明されています。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。